

第234回

# 柏崎しんきん地区内経済指標

(平成27年9月)

 柏崎しんきん

(平成8年4月 創刊)

## 1. 人口・世帯数動向

【単位：人、世帯、％】

地区別	人口			世帯		
	人数	前年同月比	前月比	世帯数	前年同月比	前月比
中心部	9,496	-0.13	0.09	4,223	1.29	0.18
東部地区	14,198	-0.11	-0.09	5,777	0.78	0.08
西部地区	10,287	-0.90	0.01	4,027	-0.09	0.04
駅南地区	6,324	-0.12	-0.22	2,824	1.18	-0.21
半田地区	3,697	0.08	-0.16	1,420	1.71	0.14
横山地区	5,459	-1.14	-0.29	1,963	0.20	-0.10
茨目・田尻地区	7,146	1.23	0.14	2,581	2.86	0.50
荒浜地区	4,875	-1.23	-0.06	2,008	0.40	0.04
その他地区	18,680	-2.57	-0.16	7,040	-0.66	0.00
西山町地区	5,784	-2.51	-0.29	2,101	-1.40	-0.19
高柳町地区	1,576	-3.60	-0.69	754	-2.83	-0.65
柏崎市計	87,522	-0.98	-0.10	34,718	0.39	0.04
刈羽村	4,770	-0.76	-0.04	1,577	-0.06	0.19
小国地区（長岡市）	5,655	-2.60	-0.22	2,104	-0.14	-0.23
出雲崎町	4,701	-1.65	0.04	1,764	-0.16	0.22
合計	102,648	-1.09	-0.10	40,163	0.32	0.03

（資料出所：柏崎市、各市町村）

### ○地域全体の人口動向

前年同月比は、柏崎市で▲867人(▲0.98%)、刈羽村で▲37人(▲0.76%)、小国地区(長岡市)で▲151人(▲2.60%)、出雲崎町で▲79人(▲1.65%)、全体で▲1,134人(▲1.09%)となっている。

前月比は、柏崎市で▲91人(▲0.10%)、刈羽村で▲2人(▲0.04%)、小国地区で▲13人(▲0.22%)、出雲崎町で+2人(+0.04%)、全体で▲104人(▲0.10%)となっている。

### ○世帯数

前年同月比は、柏崎市で+137世帯(+0.39%)、刈羽村で▲1世帯(▲0.06%)、小国地区で▲3世帯(▲0.14%)、出雲崎町で▲3世帯(▲0.16%)、全体で+130世帯(+0.32%)となっている。

前月比は、柏崎市で+14世帯(+0.04%)、刈羽村で+3世帯(+0.19%)、小国地区(長岡市)で▲5世帯(▲0.23%)、出雲崎町で+4世帯(+0.22%)、全体で+16世帯(+0.03%)となっている。

## 2. 労働需給状況

【単位：人、倍、％】

	柏崎管内	新潟県	前年同月比		前月比	
			柏崎管内	新潟県	柏崎管内	新潟県
月間有効求人	1,740		-3.97		0.92	
月間有効求職者	1,463		-9.63		-2.33	
月間有効求人倍率	1.19	1.18	0.07*	0.03*	0.04*	-0.01*

\*印は差し引き計算

（資料出所：柏崎公共職業安定所）

景気の同時指標である柏崎職業安定所管内の労働需給状況は、有効求人・求職状況（パートを含む全数）で、月間有効求人数が1,740人と前年同月比▲72人(▲3.97%)となっているが、前月比では+16人(+0.92%)となっている。

月間有効求職者数は、1,463人と前年同月比▲156人(▲9.63%)、前月比▲35人(▲2.33%)といずれも減少している。

以上の結果、月間有効求人倍率は1.19倍と前年同月比+0.07倍、前月比+0.04倍と改善傾向にあるが、県平均1.18倍と比べると▲0.01倍となっている。

また、新規求人・求職状況（パートを含む全数）については、月間新規求人数が643人と前年同月比▲53人(▲7.6%)、月間新規求職者数が389人と前年同月比▲37人(▲8.7%)となった結果、月間新規求人倍率は1.65倍となり、前年同月の1.63倍と比べて0.02ポイント上回っている。

### 3. 建築確認申請

【単位：件】

	当 月 の 申 請			平成27年度累計	
	件 数	前年同月比	前 月 比	件 数	前年同月比
一 般 住 宅（併用）	20	-9	-2	167	-1
共 同 住 宅	0	-2	-1	4	-5
事 務 所	0	-1	0	6	-1
作 業 所・工 場	0	0	-2	6	3
営 業 建 物	0	-1	0	7	-7
公 共 建 物	0	0	0	1	0
そ の 他	5	-5	-1	54	0
合 計	25	-18	-6	245	-11

(資料出所： 柏崎市建築住宅課)

建築確認申請の状況は、25件(前年同月比▲18件)。工種別内訳の増減(前年同月比)は、一般住宅(併用)で▲9件、共同住宅で▲2件、事務所で▲1件、営業建物で▲1件、その他で▲5件となっている。

なお、工種全体の申請内容は、新築が22件、一般住宅(併用)22件における市内・市外施工業者別の確認申請は、市内施工業者が9件(新築7件・増築2件)、市外施工業者が11件(新築10件・増築1件)となっている。

### 4. 電力使用量

【単位：口、kwh、%】

	契 約 口 数			使 用 量		
	口 数	前年同月比	前 月 比	使 用 量	前年同月比	前 月 比
電 灯	67,064	1.46	0.32	15,643	-0.36	-11.45
電 力	9,322	-2.57	-2.02	39,884	-2.09	-4.37

(資料出所： 東北電力(株)柏崎営業所)

〔 電灯は、家庭・道路照明・一般器機等に100Vの電源。  
電力は、工場・スーパー・モーター動力等主に200Vの電源。 〕

契約口数は、電灯が前年同月比+967口(+1.46%)、前月比+219口(+0.32%)と増加しているが電力においては、前年同月比▲246口(▲2.57%)、前月比▲193口(▲2.02%)となっている。

使用量は、電灯が前年同月比▲58kwh(▲0.36%)、前月比▲2,024kwh(▲11.45%)といずれも減少している。同様に電力でも、前年同月比▲852kwh(▲2.09%)、前月比▲1,826kwh(▲4.37%)といずれも減少している。

### 5. ガス供給量・水道給水量

【単位：m<sup>3</sup>、%】

	ガ ス 供 給 量			水 道 給 水 量		
	供 給 量	前年同月比	前 月 比	給 水 量	前年同月比	前 月 比
家 庭 用	598,842	1.59	7.30	717,633	-1.29	-3.85
営 業 用	179,475	-4.81	-26.14	128,993	0.59	-7.79
工 業 用	840,281	3.58	0.03	124,162	9.06	4.27
官 公 学 校 用	222,659	-8.29	-43.40	76,894	0.00	-21.26
そ の 他				255	200.00	363.63
合 計	1,841,257	0.50	-9.49	1,047,937	0.17	-4.99

(資料出所： 柏崎市ガス水道局)

柏崎地域でのガス供給量は、用途合計で前年同月比+9,290m<sup>3</sup>(+0.50%)、前月比▲193,183m<sup>3</sup>(▲9.49%)となっている。用途別内訳を見ると、前年同月比・前月比ともに家庭用・工業用が増加している。

一方、水道給水量は、前年同月比+1,837m<sup>3</sup>(+0.17%)、前月比▲55,133m<sup>3</sup>(▲4.99%)となっている。用途別内訳は、前年同月比では家庭用を除く全ての用途で増加し、前月比では家庭用・営業用・官公学校用で減少し、工業用・その他で増加している。

## 6. 北陸自動車道利用状況

【単位：台、％】

	入 口			出 口		
	台 数	前年同月比	前 月 比	台 数	前年同月比	前 月 比
柏 崎	84,660	2.32	-9.34	87,278	2.20	-9.56
西 山	41,117	2.86	-20.17	37,972	4.10	-23.98
米 山	21,303	2.85	-32.53	20,048	1.95	-31.97
合 計	147,080	2.54	-16.65	145,298	2.66	-17.41

(資料出所：柏崎市産業振興部観光交流課)

柏崎地域の高速道路出入口での交通量は、入口が全体で前年同月比+3,656台(+2.54%)と増加しているが、前月比では▲29,400台(▲16.65%)と減少している。

出口においても、全体で前年同月比は+3,768台(+2.66%)と増加しているが、前月比では▲30,631台(▲17.41%)と減少している。

インター別も同様に全てのインターで、入口・出口共に前年同月比は増加し、前月比は減少している。

## 7. 市内民間金融機関預金・貸出金残高

【単位：百万円、％】

	預 金			貸 出 金		
	残 高	前年同月比	前 月 比	残 高	前年同月比	前 月 比
9 月 末	377,396	2.24	5.36	150,024	3.98	0.80
9 月 平 均	380,010	2.37	5.22	148,872	4.14	0.17

預金は、9月末残高が前年同月比+8,282百万円(+2.24%)、前月比+19,205百万円(+5.36%)といずれも増加している。平均残高についても、前年同月比+8,827百万円(+2.37%)、前月比+18,881百万円(+5.22%)と増加している。

貸出金についても、9月末残高が前年同月比+5,756百万円(+3.98%)、前月比+1,194百万円(+0.80%)といずれも増加している。平均残高についても、前年同月比+5,924百万円(+4.14%)、前月比+267百万円(+0.17%)と増加している。

## 8. 手形交換高

【単位：枚、百万円、％】

	枚数/金額	前年同月比	前 月 比
交 換 枚 数	21,332	-19.70	-1.29
交 換 金 額	16,811	-20.56	-3.87
不 渡 り 手 形 枚 数	4	300.00	-66.66
不 渡 り 手 形 金 額	3	2,429.20	-73.66

(資料出所：長岡手形交換所)

当金庫が参加している長岡手形交換所における手形交換高は、交換枚数が前年同月比▲5,236枚(▲19.70%)、前月比、▲279枚(▲1.29%)、また、交換金額は、前年同月比▲4,351百万円(▲20.56%)、前月比▲677百万円(▲3.87%)となっている。なお、不渡手形は4件・3百万円発生している。

法的整理(負債1,000万円以上)による県内企業倒産は、11件(前年同月7件・前月2件)、負債総額9.6億円(同11.4億円・同0.7億円)となっている。地区別では上越地区で1件(上越市)、中越地区で3件(三条市1件・柏崎市2件)、下越地区で7件(新潟市4件・村上市2件・佐渡市1件)発生している。業種別では建設業・卸売業・小売業・運輸通信業でそれぞれ1件発生、製造業で3件、サービス業で4件発生しており、倒産原因の状況は販売不振7件・売掛金回収難1件・その他の経営計画の失敗1件、その他2件となっている。

平成27年度上半期の企業倒産は、32件・39億2100万円となり、負債額10億円以上の大型倒産がゼロであったほか、小規模な倒産が多かった。下半期に入り、中国における様々なリスクが表面化しており、県内においてもチャイナリスクが倒産や廃業の一因となるケースも見受けられた。一方、原油価格は下落傾向にあり、幅広い業種に恩恵をもたらすことが考えられるが、一概にプラスに作用するとは言いがたい面もある。小規模倒産主体で負債総額は抑えられている状態だが、リスク要因なども加味すれば、今後の倒産動向にはこれまで以上に注意を払う必要がある。